

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成19年9月6日(2007.9.6)

【公開番号】特開2006-58770(P2006-58770A)

【公開日】平成18年3月2日(2006.3.2)

【年通号数】公開・登録公報2006-009

【出願番号】特願2004-242535(P2004-242535)

【国際特許分類】

G 09 G	3/36	(2006.01)
G 02 F	1/133	(2006.01)
G 09 G	3/20	(2006.01)
G 11 C	19/28	(2006.01)
H 03 K	17/10	(2006.01)
H 03 K	17/687	(2006.01)

【F I】

G 09 G	3/36	
G 02 F	1/133	5 5 0
G 09 G	3/20	6 1 1 A
G 09 G	3/20	6 2 2 B
G 09 G	3/20	6 2 2 E
G 09 G	3/20	6 2 3 B
G 09 G	3/20	6 2 3 H
G 11 C	19/28	D
H 03 K	17/10	
H 03 K	17/687	A

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月25日(2007.7.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

走査線又は信号線のうちの少なくとも一方を駆動する表示装置の駆動回路において、
入力された入力信号の位相をシフトさせて出力するシフトレジスタと、
シフトレジスタの出力信号の振幅をイネーブル信号を用いて増幅し走査線又は信号線に
出力するバッファとを備え、

前記イネーブル信号のハイレベル電圧とローレベル電圧との電位差を走査線又は信号線
の駆動用の電位差とし、シフトレジスタ及びバッファでのハイレベル電源電圧とローレベル
電源電圧との電位差を、前記イネーブル信号のハイレベル電圧とローレベル電圧との電位差よりも小さく設定したことを特徴とする表示装置の駆動回路。

【請求項2】

前記バッファは、イネーブル信号が入力されるイネーブル端子と増幅した信号を出力す
る出力端子との間の導電パスをもつトランジスタと、

前記出力端子と電源電圧との間の導電パスをもつトランジスタと、
を備えた出力回路を有することを特徴とする表示装置の駆動回路。

【請求項3】

前記シフトレジスタおよび前記バッファを構成する各トランジスタは、pMOSトランジスタであって、前記イネーブル信号のローレベル電圧よりも、シフトレジスタ及びバッファでのローレベル電源電圧を高く設定したことを特徴とする請求項1又は2記載の表示装置の駆動回路。

【請求項4】

前記シフトレジスタおよび前記バッファを構成する各トランジスタは、nMOSトランジスタであって、前記イネーブル信号のハイレベル電圧よりも、シフトレジスタ及びバッファでのハイレベル電源電圧を低く設定したことを特徴とする請求項1又は2記載の表示装置の駆動回路。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本表示装置の駆動回路は、さらに具体的な構成として、前記シフトレジスタおよび前記バッファを構成する各トランジスタは、pMOSトランジスタであって、前記イネーブル信号のローレベル電圧よりも、シフトレジスタ及びバッファでのローレベル電源電圧を高く設定したことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本表示装置の駆動回路は、別の具体的な構成として、前記シフトレジスタおよび前記バッファを構成する各トランジスタは、nMOSトランジスタであって、前記イネーブル信号のハイレベル電圧よりも、シフトレジスタ及びバッファでのハイレベル電源電圧を低く設定したことを特徴とする。